

New Hope

～札幌ペンテコステ教会ニュース～

2013年5月

時は進む

なかなか気温が上がらず、桜の開花も平年よりかなり遅くなりました。それでも必ず桜は咲き、季節は巡ります。災害や事故など、たとい予期せぬ突発的な事があっても、起こるべきことは起こり時が進んでいきます。四季を繰り返し年月を経て、早かれ遅かれ、人には必ずその人生を終える時が来ます。

札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南 14 条西 18 丁目 4-5

TEL&FAX 011-561-5072

<http://sapporopk.com/>

学生が就職を目指して『就活』に励むのと同じように、『終活』と称して、人生の終わりに備える人たちも居ます。受験、旅行、結婚、試合、仕事……何をするにも、事前の準備が大切ですから、『終活』もその方向性が正しければ意味のあるものとなることでしょう。——問題は、「何に備えるか？」です。

正しい『終活』のすすめ

何に備えますか？

資産をお持ちの方なら、のちのち家族親族間で揉めないように、財産分与について遺言書を作成するのも知れませんが、多くの蔵書を持っておられるなら、処分や寄贈に関して決めておくかも知れません。葬儀のこと、墓のこと、事業のこと、友人知人への挨拶ほか、一般的に行われている『終活』とは、遺された他の人達に対する配慮の項目が多いようです。

では自分自身については、どうでしょうか。葬儀の形式や埋葬方法(分骨や散骨など)を決めたとしても、その場に自分自身は居ないわけですから「生前の気持ち」を表明しておくだけの事です。死した肉体を離れてしまった靈魂(存在の「本質」)について、どれだけの備えが出来ているでしょうか。

そして、一度だけ死ぬことと、死んだ後さばきを受けることとが、人間に定まっているように、キリストもまた、多くの人の罪を負うために、一度だけご自身をささげられた後、彼を待ち望んでいる人々に、罪を負うためではなくに二度目に現れて、救を与えられるのである。

(新約聖書 ヘブル人への手紙

第9章27-28節)



また、死んでいた者が、大いなる者も小さき者も共に、御座の前に立っているのが見えた。かずかずの書物が開かれたが、もう一つの書物が開かれた。これはいのちの書であった。死人はそのしわざに応じ、この書物に書かれていることにしたがって、さばかれた。
(新約聖書 ヨハネの黙示録 第20章 12節)

聖書には「死後のさばき(そして永遠の刑罰)」があると書いてあります(死が怖いと感じるのは、本能的にこれを知っているからなのかもしれません)。すべての人間は、地獄行き確実な毒薬を飲んでいる状態なのです。解毒剤(キリスト)無しに行く先は、既に決まっています。

しかし聖書には、そこから助け出される唯一の方法についても書いてあります。そしてそれは、難しいことではありません。難行苦行や多くの善行、寄付などの条件はありません。『イエス・キリストを救世主として信じること』ただそれだけです。「さばきや地獄を語って人々を脅し、無理に信じさせようとしている」そう言って批判する人たちもいます。しかし、「死とさばきと地獄」は紛れもない事実。現実から目を背けていて、いざ、その段になったら一体どうするつもりなのでしょう。

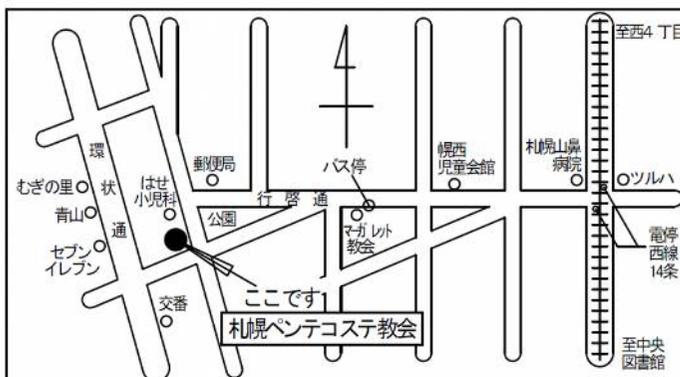
どうか、聖書を読んでみて下さい。キリスト教会で話を聞いてみて下さい。自分自身で「本当の神さま」「イエスさま」に、わかるように助けて下さいと祈ってみて下さい。

死後の行先を決めておく……これが、最もたいせつな『終活』です。

教会の定期集会のご案内

- GP クラブ こどものためのプログラムです。(毎週日曜日 あさ 9:00~10:00)
聖日礼拝 聖書を通じて神さまを知ります。(毎週日曜日 あさ 10:30~12:00)
祈り会 神さまを賛美し祈り新たな力を受けます。(毎週木曜日 よる 7:00~8:30)

どの集まりも参加自由、入場無料です。それぞれ、自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをささげる」ためのもので、各自の自由です。



教会のホームページ

<http://sapporopk.com/>

NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりすることができます。

西 4 丁目電停から市電にて
西線 14 条下車

JR 札幌駅札幌ターミナルから、
JR 北海道バス啓明線[51]にて
南 14 条西 17 丁目下車